

# ひびき

hibiki

取手市議会だより第198号  
2012(平成24)年8月1日発行

<紙面から>

取手市議会は、去る6月7日から21日までの間、平成24年第2回定例会を開催しました。

今定例会には、市長から、小中学校、道路、公園等の放射能除染を行うための補正予算や、臨時災害FM放送局開局のための補正予算等が提出されました。

また、今年新たに制定された議会基本条例に基づき、5月には議会報告会を、6月には講師をお招きして講演会を開催しました。

発行責任者/取手市議会議長 倉持光男  
発行/取手市議会 編集/取手市議会事務局  
〒302-8585 茨城県取手市寺田5139  
電話番号 0297-74-2141(内線1801・1802)  
ファクス 0297-74-1990  
ホームページアドレス http://www.city.toride.ibaraki.jp/  
e-mailアドレス gikai@city.toride.ibaraki.jp

## 議会基本条例に基づき...

5月12日

### 議会報告会開催

5月12日、議会報告会を開催しました。この報告会は、議会基本条例に報告会の規定が制定されたため、条例に基づいた初めての報告会として実施いたしました。

報告会の内容は、第1回定例会の議決結果等を報告するものであり、当日は23名にご参加いただきました。終了後、参加者からいただいたアンケートには、「(開催)時間が短い」「報告の仕方に工夫が必要」等のご意見がありました。今後、いただいたご意見を基に改善を図り、よりよい報告会を目指します。

今回の報告会の開催日等につきましては、次号の議会だより、ひびきメール、ツイッター等でお知らせいたします。



議会報告会の様子

議会報告会アンケート結果 (抜粋)  
(問) 議会報告会について、気づいた点

- ・議案の説明はもう少し短い方がよい
- ・配布された資料だけではわかりづらい
- ・報告用の資料を作り、それを基に報告すべき
- ・「ひびき」を見ての解説はあまり意味がない
- ・時間配分を報告50%、質疑・意見交換50%としては
- ・予算について内容量に対し時間が少なかったのがわかりにくい
- ・報告が早口で、議案の審議結果のみを発表しているという感が否めない
- ・議員も市民も要約して話してほしい
- ・一部の参加者の意見陳述になっていた
- ・あくびをしている議員がいた
- ・出席者が少ないので、お知らせ、呼びかけが必要
- ・市民の意識、意見が反映された市議会になるために報告会は不可欠

\* アンケート結果は、市ホームページに掲載しています。



童門冬二先生

### 講演会を開催しました

テーマ「行財政改革の新たな視点」

去る6月16日、作家の童門冬二先生をお招きして、市議会主催の講演会を開催しました。この講演会は、議会基本条例により議員の政策立案・形成力を高めることを目的に行われました。

童門先生は、平成11年に取手市で創設されたエッセイコンクール「頑固者賞」の受賞作選者を務めていたなど、取手市と縁の深い高名な歴史小説作家です。代表作に「上杉鷹山」があり、取手市台宿に墓所があり

る徳川家康の家臣、「鬼作左」こと本多作左衛門重次についての著作もあります。

講演会当日も、歴史上の人物のエピソードを現代に置き換えるなどして、日本の政についてお話しいただきました。

また、この講演会には市民の方にもご参加いただき、100名を超える方々にお聴きいただきました。今後、議員のみならず、市民の皆様と一緒に資するような講演会を開いていきます。

# 平成24年第2回定例会の議決等結果

「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「不」は離席など採決時不在、「除」は除斥による退席を表します。  
議長（倉持光男議員）は、可否同数のとき又は特別多数議決のとき以外は表決に加わりません。

種別	件名	議決結果	会派名、議員名及び賛否の別																											
			賛否数		創世クラブ					はやぶさ					公明党			日本共産党			みんなの党		彰考会@取手	志正会	民主党					
			賛成	反対	石井めぐみ	川又貞男	山野井隆	小嶋吉浩	吉田宏	入江洋一	佐藤隆治	倉持光男	渡部日出雄	金澤克仁	中村修	佐藤清	赤羽直一	落合信太郎	染谷和博	阿部洋子	齋藤久代	関戸勇	鈴木潔	遠山智恵子	加増充子	市村達明	池田慈	飯島悠介	結城繁	平由子
市長提出	市道路線の変更及び廃止	原案可決	15	10	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
	平成24年度一般会計補正予算(第1号)の専決処分	承認	21	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	
議員提出	大飯原発再稼働方針を撤回し、「原発ゼロの日本」をめざすことを求める意見書	原案可決	23	2	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願・陳情	黒字の国民健康保険税引き下げを求める請願書	不採択	5	20	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×		
	守谷市・取手市の図書館相互利用に関する協定についての陳情	採択	25	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	取手市立図書館の開館時間変更についての陳情書	不採択	12	13	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
	取手市議会基本条例の改廃と政務調査費の廃止に関する陳情	不採択	0	25	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	政務調査費に関し、議会議決及び監査結果の処理について、地方自治法第98条による検査を求める陳情	不採択	0	24	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	除	×	
	小学校・中学校における放射線についての副読本に対する陳情	不採択	10	15	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	取手市民の権利と義務に関する陳情	不採択	6	19	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×

以下の各市長提出議案は、全員賛成で原案可決、適任、承認と決しました。

(原案可決)

税条例の一部を改正する条例、火災予防条例の一部を改正する条例、市道路線の認定、藤代山王郵便局において取り扱う市の特定の事務の変更、平成24年度一般会計補正予算(第3号)、同(第4号)、平成24年度介護保険特別会計補正予算(第1号)、永山小学校体育館改築工事請負契約の締結

(適任)

人権擁護委員の推薦(富永正江氏、高城愛子氏)

(承認)

税条例の一部を改正する条例の専決処分、都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分、国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分、平成23年度一般会計補正予算(第16号)の専決処分、平成24年度一般会計補正予算(第2号)の専決処分

以下の各議員提出議案は、全員賛成で原案可決と決しました。

再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書、「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書、電気料金の値上げに反対する意見書、障害者総合福祉法(仮称)の制定を求める意見書



# 市長提出議案

都市計画道路中内大塚線  
跨線橋開通とともに市道  
路線廃止が決定

●市道路線の変更及び廃止  
：可決

JR新田踏切（藤代）の  
廃止に伴い、市道路線を分  
割し、その一部である踏切  
部分の市道路線を廃止する  
もの。

〔討論〕

池田議員：跨線橋の高さ  
が4階とほぼ同じで、渡る  
のが大変。踏切廃止で自転  
車・歩行者は不便を強いら  
れる。跨線橋建設に踏切除



建設工事が進む中内大塚線の跨線橋

## 都市計画道路 中内大塚線跨線橋

常磐線で分断された藤代駅周辺地域の南北を結ぶ都市計画道路「中内大塚線」の跨線橋。昭和55年に藤代町（当時）が計画決定し、本年10月末に完成予定。工事施工者は茨城県。JRと茨城県の協定及び国土交通大臣の立体交差化指定により、この跨線橋の供用開始と同時に、西側に設置されている新田踏切は除却（閉鎖）される。

- ・橋りょう部延長 … 171メートル
- ・橋りょう部地上高 … 13.575メートル  
(路面の最高点)
- ・跨線橋への階段 … 4カ所に設置

却の協定書があることを何  
人が知っているのか。反対。  
遠山議員：昨年12月に踏切  
存続の請願・陳情が採択さ  
れた。市長は議決を尊重し、  
議会は議決に責任を負うの  
は当然。震災後の避難経路  
の確保から、市道廃止は拙  
速で、問題は大きい。反対。  
阿部議員：昨年の陳情に賛  
成したが、便利さより人命  
第一を優先に考えると、絶  
対に事故を起こしてはなら  
ない。そのため新田踏切を  
閉鎖することがベストの答  
えとなった。賛成。



JR新田踏切(藤代)

●火災予防条例の一部改正  
：可決

火災予防条例に関する基  
準を定める省令改正に伴い、  
電気自動車用急速充電設備  
の基準を条例に加えるもの。

〔討論〕

齋藤議員：周知徹底を図  
り、今後ますます身近にな  
る電気自動車の普及に備え  
てほしい。賛成。



永山小体育館(現在は解体済み)

平成25年2月末までに  
改築工事を完了

●永山小学校体育館改築工  
事請負契約の締結：可決  
・契約金額 2億3625  
万円

・契約の相手方 成島・中  
央特定建設工事共同企業体  
・契約方法 一般競争入札  
・施設概要 昇降式LED  
照明付きアリーナ、ステー  
ジ、洋式・多目的トイレ等

〔討論〕

染谷議員：子どもたちが  
安心して学校生活を過ごす  
ことができる環境整備を図  
り、一刻も早い小中学校耐  
震化一〇〇%達成を。賛成。

臨時災害FM放送局開局へ

●一般会計補正予算(第3  
号)：可決

・補正予算額 4254万  
1000円

・内容 ①放射能除染工事  
実施設計業務委託料(小中  
学校等) ②臨時災害FM放  
送局開局費用 ③損害賠償請  
求事件の訴訟代理人委託料

〔討論〕

加増議員：賛成だが、すべ  
てに賛成ではない。放射能  
除染工事設計委託料は早期  
に除染を行う立場から賛成。

弁護士費用について、百  
条委員会を設置し刑事告発  
を議決した結果は、当時の  
議長、百条委員長、賛成し

### 損害賠償請求事件の経緯

平成23年3月	前市議が、議会図書室内印刷機で飯島悠介氏(現市議)のチラシを印刷
平成23年8月	「地方自治法第100条調査会の設置を求める陳情」が提出
平成23年9月	第3回定例会最終日に「地方自治法第100条調査会の設置を求める陳情」を採択 採択を受け、「議会図書室印刷機使用に関する100条調査特別委員会」を設置 ⇒以降、12月まで8回の委員会を開催し、調査を行う。
平成23年12月	第4回定例会最終日に特別委員会の委員会報告及び前市議を虚偽の陳述に対する告発について、いずれも賛成多数で可決
平成24年1月	前市議を茨城県警に告発
平成24年3月	茨城県警より告発不受理の連絡。議長が議員全員協議会で全議員に伝える。
平成24年4月	前市議が市長を提訴

た議員に求められるべき。  
認められない。

地域FM放送は、被災弱  
者に不向きであり、6カ月  
限定では3・11の教訓を生  
かしたとは評価できない。

飯島議員：(損害賠償請求  
事件について)事の始まり  
をたどれば、私は原告と深  
く関わっていたので採決す  
る立場にないが、他の事業  
の重要性をかんがみて賛成。

山野井議員：FM放送に  
着手したことを評価。行政  
情報・災害情報だけではな  
く、地域の魅力の発信など  
コミュニティFMとの連  
携、防災行政無線とのリン  
クなど、さまざまな活用を  
期待して、賛成。

ここも見てって



取手市議会では、本会議の生中継  
を行っております。インターネット  
に接続できるパソコンをお持ちの方  
は、取手市役所ホームページからご  
らんいただけます。  
また、本会議の録画配信も行っており  
ます。  
さらに、過去の本会議会議録や委  
員会記録を検索・閲覧できる「会議  
録検索システム」もありますので、  
ご利用ください。



# 市長提出議案(続き)

夏休み中に小中学校を放射能除染／取手駅東口にバスパス追加工事決定／プラスチック容器包装回収が隔週から毎週に

●一般会計補正予算(第4号)：可決

・補正予算額 18億4914万6000円

・主な内容 放射能対策(小中学校等除染工事費、道路・公園等除染工事実施設計業務委託料、除染計画パンフレット作成費等)・じん芥収集運搬委託料・取手駅東口駅前広場改修工事費用・理科支援員等配置事業・学びの広場サポートプラン(※)拡充経費等。

〔討論〕

池田議員：小中学校の本格的な除染実施。プラスチック容器回収が隔週から毎週に変更。学びの広場サポートプランで5年生が追加されたこと。(昨年度は4年生のみ)以上を理由に賛成。

※学びの広場サポートプラン：夏休み中に、教員が一般から募集したサポーターとともに子どもたちに算数を教える茨城県の事業。

●介護保険特別会計補正予算(第1号)：可決

・補正予算額 3150万円

・内容 介護給付費等の確定に伴い、交付金の超過額を返還するもの。

〔討論〕

平議員：医療技術にお金をかけるよりも、介護等、社会制度を保持するほうが健康に安心して暮らしている。より多く介護にお金を回すべき。賛成。

●平成23年度一般会計補正予算(第16号)専決処分：承認

・補正予算額 1億4495万円

・主な内容

歳出：放射能除染費用の負担金の計上、産業活動支援施設奨励金の増額等。  
歳入：震災復興特別交付税、放射線量低減対策特別緊急事業費補助金交付決定による計上、法人市民税減額補正等。

〔討論〕

齋藤議員：計画に基づく除染活動のスムーズな実施と、厳しい経済状況を把握しながら、市内の産業発展に粘り強い対応を望み、賛成。

学校法人江戸川学園小学校開校の意向(旧野々井中学校売却に向けて)

●平成24年度一般会計補正予算(第1号)専決処分：承認

・補正予算額 420万円

・内容 旧野々井中学校の不動産鑑定料及び測量業務委託料。

〔討論〕

加増議員：議会を開くいとまがないとの専決処分は、相手の言い分を優先するあまり、市民の意見聴取を惜しんだ結果。民主主義と議会を軽視する専決処分は認められない。反対。

齋藤議員：地元の人はもちろん市民が注目している。丁寧な説明を求め、賛成。

小嶋議員：江戸川学園はベストに近い選択なので、公募の必要はない。市は、県内初の小中高一貫校として整備を進めるべき。賛成。



旧野々井中学校校舎

# 意見書

意見書とは、議会の意思を意見としてまとめた文書のことです。可決された意見書は、その意見を処理することができる行政庁や国会に提出されます。

●再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を

求める意見書：可決

代替エネルギー減税拡充や再生可能エネルギー発電事業に係る規制改革等を求めるもの。

〔提出者〕 齋藤議員ほか3人

〔討論〕

平議員：原子力以外の発電能力を増設すれば電力需要は賄える。賛成。

池田議員：まだまだ再生可能エネルギー導入には環境整備が不十分。賛成。

市村議員：企業も売電価格の不安定さにより導入検討できないとのこと。取手から自然エネルギーの推進を発信することに同意。賛成。

●大飯原発再稼働方針を撤回し、「原発ゼロの日本」をめざすことを求める意見書：可決

〔提出者〕 関戸議員ほか1人

〔討論〕

平議員：普通の地震が直撃しただけで福島と同じ悲劇が繰り返される。また、核燃料の最終処理で放射性物

質がたまっていく。すぐにやめさせるべき。賛成。

池田議員：大飯原発の下に活断層があることが判明。津波対策の防潮堤もまだ完成していない。賛成。

市村議員：日本は「原発ゼロ」を目指すとはっきり明言するべき。賛成。

鈴木議員：再稼働中止は深刻な放射能と向き合う取手市民の声。対策に真剣に取り組み取手市議会として当然の要求。賛成。

●電気料金の値上げに反対する意見書：可決

電気料金の総括原価方式を改めること、電気料金の値上げに反対することを求めるもの。

〔提出者〕 鈴木議員ほか1人

〔討論〕

平議員：民に筋違いの痛みを押しつけることに反対。

よって意見書に賛成。

関戸議員：値上げは原発事故のツケを国民に回すもの。国は東電にさらなる企業努力を求めるべき。賛成。

●障害者総合福祉法(仮称)の制定を求める意見書：可決

障害者総合福祉法(仮称)の着実かつ速やかな成立のため、障がい者制度改革推進会議総合福祉部会の提言を尊重すること、地方自治体の財源確保を求めるもの。

〔提出者〕 遠山議員ほか1人

〔討論〕

加増議員：国会に提出された障害者総合支援法案は自立支援法廃止を明文化せず、応益負担も残したまま。私たち抜きで私たちのことを決めないでと障害者の皆さんが訴えるのは当然。賛成。

## 議会情報はコチラ

○ひびきメール(登録手続きが必ず必要)



○取手市議会公式Twitter(ツイッター)





# 皆さんの希望です 請願・陳情

請願は、皆さんが国や県、市区町村に対し、一定の希望を述べるものです。憲法には、国民の基本的権利として請願権（第16条）が保障されています。陳情は、法で定められた権利ではありませんが、取手市議会では、請願と同様に審議しています。

## 請願

●黒字の国民健康保険税引き下げを求める請願書：不採択

国民健康保険税の引き下げ、保険証の取り上げをやることを求めるもの。

〔紹介議員〕

加増議員

〔討論〕

遠山議員：国保加入者の暮らしを守り、安心して医療機関にかかれる制度とするために、日本共産党は一貫して国保税の引き下げ、減免制度の実現を求めてきた。

引き続き取り組みことを表明し、賛成。

平議員：持たないと言われている公的医療保険を持たせるよう頑張るべき。制度が借金だらけになり立ち行かなくなる構図と一緒に第2、第3医療技術の弊害も議論していくべき。反対。



## 陳情

●守谷市・取手市の図書館相互利用に関する協定についての陳情：採択

守谷市・取手市の図書館相互利用に関する協定書の締結について、平成26年度を最終目標に調整を図ることを求めるもの。

●市立図書館の開館時間変更についての陳情書：不採択

土曜日・日曜日の図書館開館時間を午後9時まで（現在は午後6時まで）延長するために、図書館管理運営規則の見直しを求めるもの。

〔討論〕

関戸議員：利用時間、利用人数を見ていくとやはり場所の問題が大きい。東急跡地に図書館を移せば夜でも通勤者が使える。そういう道につながるのではないかと。賛成。

●取手市民の権利と義務に関する陳情：不採択

市が被告となる損害賠償請求事件（民事裁判）に関する、水戸地方裁判所龍ヶ崎支部から送付された訴状の公開を求めるもの。

〔討論〕

池田議員：裁判所に問い合わせたところ、訴状は被告に送られた段階から裁判所で閲覧できるとのこと。情報が公開できる状態と考えれば非開示にする理由にならない。賛成。



左から取手図書館、守谷中央図書館（守谷市大柏）、ふじしろ図書館

●取手市議会基本条例の改廃と政務調査費（※）の廃止に関する陳情：不採択

取手市議会基本条例第5条3項及び4項の改廃及び政務調査費に関する条例及び規則の廃止を求めるもの。

取手市議会基本条例（一部抜粋）

第5条

第3項 議会は、請願及び陳情を政策提案として受け止め、これからの提出者から発言の申出があったときは、特別の理由がない限り、提出者代表の意見を聴く機会を設けなければならない。

第4項 常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会の委員長は、必要があると認めるときは、委員会に諮り市民の発言を許可することができる。

※ただし、第3項の規定については、当分の間、委員会のみで行うものとします。

●政務調査費（※）に関し、議会議決及び監査結果の処理について、地方自治法第98条による検査を求める陳情：不採択

平成23年第4回定例会における政務調査費返還の議決及び陳情者が行った住民監査結果についての確認と検査を求めるもの。

※政務調査費：地方自治体がその議会の議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として、議員又は会派に交付する金銭的給付。

取手市では、会派に対して、その会派に4月初日時点で所属する議員数に10万円を乗じた額を毎年交付しています。

●小学校・中学校における放射線についての副読本に対する陳情：不採択

副読本の配布中止及び回収と副読本の内容変更の意見書提出を求めるもの。

〔討論〕

関戸議員：副読本を読んで、いまだに原発の安全神話にとりついた方であつたられたのではないかと疑念を抱いている。回収により日本の安全神話がおかしいことを改めて知ってほしい。賛成。

小嶋議員：書いてあることは間違いのないから回収する必要は全くない。正しい知識が書いてある。反対。

池田議員：副読本の内容自体に問題がある。委員会の中で、教育委員会でも似たような認識を持っていると感じた。内容変更について、考えているところは同じ。賛成。

## 請願・陳情の提出方法

請願・陳情の様式は、取手市ホームページの議会のページからダウンロードできますので、ご利用ください。なお、提出について、ご不明な点がございましたら、お気軽に議会事務局までお問い合わせください。（請願の様式例）

〇〇〇〇〇〇を求める請願

紹介議員 ××××

請願者代表住所 氏名

・請願趣旨

・請願事項  
以上、地方自治法第124条の規定により請願いたします。  
平成 年 月 日  
取手市議会議長 殿

住所	氏名

●次回の陳情は慎重審査を期すため、次の定例会まで継続審査となりました。

●障害者のためのケアホーム設置に関する陳情

●外来水生生物に関する陳情



文部科学省発行の放射線副読本 小学生用(左)、中学生用(右)



# 一般質問

# 市民の声を代表して 22人が質問

議員は、市長などに対して、市の仕事の状況や将来の方針などを質問することができます。これを「市政に関する一般質問」と呼んでいます。  
今回の定例会では、22人の議員が市民の皆さんを代表して一般質問をしました。どのような質問と答弁のやり取りがあったのか、ご紹介していきます。

## 風水害と放射能

市村 達明 議員

**問** 本年度の地域防災計画は大震災の影響を盛り込んだ内容と聞いているが、どのような点に留意して作成したのか。

**総務部長** 震災当時、最も力を入れなければならぬのは、市民の力、地域の力であると感じた。これらを具体化したのがこの防災計画である。

**問** 地域防災計画の中に竜巻についての対応が入っていないがなぜか。

**答** 竜巻は風水害対策の一つとして考えている。竜巻に限らず、市民には様々な情報伝達手段を使ってお知らせをしていきたい。また、災害時に対応できるよう職員の体制も整えている。

**問** 放射能対策について、除染計画の直近の予定と進捗状況、除染の方法は。

**まちづくり振興部長** 早急に調査委託の発注準備に入る。国に申請を行い、7月には工事発注をしたい。最初には線量の高い小中学校を先行して発注したい。

除染方法は、学校の校舎を含めた敷地内全体を行うが、子どもの遊び場である校庭を先行して行う。校庭の表土や除去した物は袋詰

めにして埋設し保管する。  
**問** 通学路等から除去された物を公園等で保管する場合は近隣住民への周知は。

**答** 当然表示もするし、周辺住民に説明も行う。

**\*取手市地域防災計画は、市ホームページに掲載しております。**

## 災害に強いまちづくり

阿部 洋子 議員

**問** 急傾斜地対策に有効な全天候フォレストベンチ工法は、斜面を階段状につくり変え、森を再生する技術であり斜面の安定を高める工法である。安価でメンテナンスも必要ない優れた工法なので、今後、急傾斜地を整備する所有者に紹介や勉強会を行ってはどうか。

**建設部長** 新しい工法を取り入れる場合に勉強会等は行っているのですが、この工法だけの勉強会を行うつもりはない。

**問** 学校耐震化100%達成に向けて。現時点では全国平均、県平均よりも低い数値であるが所見を伺う。

**教育委員長** 震度6強の地震で倒壊の危険性が高いIS値0.3未満の建物は、耐震化工事が完了。平成23年度からは、耐震補強工事を中心に小中学校の耐震化率100%達成を最優先施

策として進めている。

**問** 学校は、子どもの命を守ることもに地域の防災拠点でもある。学校施設の天井、照明器具などの非構造部材の耐震対策について安全点検の実施は。

**教育部長** 学校の教頭先生を中心に月1回程度、文科省の非構造部材の耐震化ガイドブックを参考にチェックをしている。修理が必要と判断されたものは教育委員会に連絡し、現地を再度確認して修繕をしている。



耐震化工事中の藤代小学校

## 放射能除染に光合成細菌の活用を！

平 由子 議員

**問** 光合成細菌は人類の生存に欠かすことのできない生物と判明。例えば、稲の穂が出ないときなどに光合

成細菌を使えばそれを自由に操ることができ、豊作にすることができると。昔、光合成細菌を培養していた方が培養水槽にラジウムを入れたら、水槽内の光合成細菌がラジウムを食べるために集まってきた。また、2011年11月6日の東京新聞に、1979年スリールマイル島原発事故後、原子炉内にミドリムシが大量繁殖と掲載。ミドリムシは放射能を食べて増殖していく。人類にとって有効な菌はいる。EM菌も乳酸菌も一緒。市の汚染対策も放射能を移すのではなく、減らさなくてはならない。後に続く若者のために希望を植えていくことが先人のやるべきこと。

**市長** EM菌等が放射線量を下げる事例があると言われていることを理屈の面で受け止め切れない。いろいろ試すのは大事だが、理屈がわからなければ行政としては入っていきたくない。  
**まちづくり振興部長** 広島国際学院大学のレポートによると、光合成細菌でセシウムの吸着ができた。しかし、私どもでやろうとすると、ろ過したセシウム濃度が濃くなり、扱いに困る。また、有用微生物群による元素転換ができたとして何の物質ができるかわからない。研究を待つ。



# ふるさと取手 住みたい街へ

齋藤 久代 議員

場がないため経済的な負担が大変である。藤代庁舎の広場など会場として使える環境整備を検討し、市民団体の活動や行政と連携した活動につなげたい。

※GNH：国民総幸福量または国民総幸福感

## 不育症への助成

落合 信太郎 議員

問 不育症は約140万人と推定され、毎年約3万人が新たに発症している。病床治療に対する助成を実施する自治体が増えているが、市の状況は。

健康福祉部長 国の補助金を使った調査研究の結果を把握。また、市内2カ所の病院で治療を実施。現在、保健センターでの対応や相談は行っていない。

問 他の自治体でも不育症の治療を実施するところが増えているが、市の評価は。

答 少子化対策の一つとしても有効。医師会や市内の医師との会議で協議し、対応を考えたい。情報提供については、ホームページリンクを張るなど、できることからやっていきたい。

問 まだ認知度も低く、高額な治療費がかかると思われる。治療を受ければ、85%の方が赤ちゃんを授かる可能性はある。一日も早い検討と周知・啓発の実施については。

答 ホームページ、広報等で啓発していきたい。また、保健センターの相談の中や、今後、市の支援の中にも取り入れていきたい。

## ごみ処理とごみ減量化

池田 慈 議員

問 新しいキルン式ガス化溶融焼却炉が8月から稼働。焼却能力が小さくなり、1人1日当たりのごみ搬出量を700グラムから平成32年度までに679グラムに減らすことになるが、市の取り組みは。

まちづくり振興部長 4月1日から5種16分別に細分化。現在ごみの搬出量は700グラムで、このままの推移でいけば達成できる。

問 プラ容器はA・B・Dの3段階に分けられ、当市は最下位Dランクで、リサイクルの生産性が低い。市民への周知が必要では。

答 Dランクのものはリサイクル業者に回せず産業廃棄物になり、非常に効率が悪く、広報だけでは周知徹底できないので、地元への説明、出前講座などを引き続き行っていきたい。

問 国がリサイクルからリユース(※)に方向転換し

なくては市の取り組みが非常に難しいと思うが、具体的なごみ削減への考えは。

答 生ごみ処理機の購入補助、レジ袋の辞退を促進する取り組みを各スーパーにも参画してもらい、消費者団体と協力してキャンペーンなどを行っている。

問 これからも生ごみのリサイクル、レジ袋の有料化を推進していただきたい。

※リユース：一度使用された製品(部品)をそのまま再利用すること

## 通学路の安全対策

染谷 和博 議員

問 登下校中の交通事故を解消するには通学路を点検し、一層安全対策を強化しなければならぬ。昨年の一般質問で答弁のあった危険箇所4カ所の対応は。

総務部長 白山西小の電柱は対応済み。残りの3カ所は警察に要望しているが、解消されていない。文科省、国交省、警察庁から通学路における交通安全の確保についての通知が来ていることも踏まえ、引き続き警察に要望していく。

問 児童、生徒側に落ち度のない横断歩道での事故が非常に多いことを受け、通達等が出ている。警察との話し合いは済んでいるのか。

答 まだ進めていない。

問 文科省等からの通達に対する取り組みの状況は。

教育長 PTA、校外指導員、教職員、ボランティア等で通学路を調査し、結果を教育委員会に報告している。それを精査して学校、市、警察で現地調査をして安全対策を図りたい。

問 桑原の踏切は大変狭い。どのように考えているか。

建設部長 県と共同でオーバードブリッジ建設を26年の予定で計画しているが、県の事業が難航している。若手遅れると思う。拡幅は、JRとの関係もあり現時点では考えていない。

## 放射能対策

赤羽 直一 議員

問 除染計画は、市政協力員と自主防災会など多くの協力のもとで作成された。基本的な考え方と特徴は。

まちづくり振興部長 各地域で測定されたデータを参考に市が発注したデータを重ね合わせ、3月に実施計画を策定。特徴は、地域と一体になった除染作業を想定して進めたこと。

問 除染作業は学校が優先されると思うが、今後のスケジュールについては。

答 測定の結果、校庭で0・

■除染作業スケジュール(予算措置された部分)

除染対象	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小・中学校等 除染工事の調査設計	→							
小・中学校等 除染工事		→						
その他除染対象施設 調査設計			→					

23マイクログリットを上げるのは、中学校3校、小学校3校で、夏休み期間中に除染作業に入る。それ以外の校舎の脇などの除染作業は、早ければ9月ごろから全部発注できると思う。

問 一番重要なのは、除染作業をスムーズに行うこと。同時に地元企業が除染のノウハウを取得できるように発注をすべきだと思いませんか。

答 地域の除染はきめ細かく長期になると思うので、地元業者の協力がないと難しい。地域の事業者が除染に関われるように考えたい。

問 道路や民有地から出た除染の廃棄物の処分は。

答 道路の除染はブラッシングなどで行うため、それほど量は出ない。民有地の場合、市内に仮置き場がないため、各家庭から出た物は庭に保管していただく方法を検討するしかない。



## 平和のために できること

遠山 智恵子 議員

問 民主党政権は武器輸出三原則を緩め、危険な事態になっている。広島・長崎への原爆投下から67年。核兵器を使用させないためには廃絶しかない。市長の政治姿勢は。

答 エネルギーの問題は国の大きな政策。難しい。

問 市は平和事業として、さきの戦争の体験記第3集のまとめを手掛けていますが、そういうものを映像で記録すれば、より関心を持ってもらえると考えが。

総務部次長 多くのの人に見てもらうには、記録を残していった方がいい。

問 市役所前に平和宣言文の看板を設置する考えは。

ない。

## 跡地利用の状況は？ 旧野々井中学校

金澤 克仁 議員

問 学校法人江戸川学園が、旧野々井中を小学校利用のため購入したいとの新聞報道があった。市は、どのような跡地利用が望ましいと考えているか。

市長 地域の皆さんの気持ちを考えると、学園としての利用が最も望ましい。

問 6月3日に地元説明会が開かれたが、どのような意見が出されたのか。

政策推進部長 私立学校が増えると公立学校がさらに少なくなる、高齢者福祉施設に使ったらいい、学校を学校として使うことは歓迎など、9名から意見があった。

問 建設に当たっては国から補助金を受けているが、民間に売却すると、その扱いはどうなるのか。

教育部長 原則、国庫補助金相当額を国庫納付金として返還するが、この場合は納付金相当額を市の学校施設整備基金に積み立てれば免除が受けられる。

政策推進部長 その場合、3億6900万円を基金に積みことになる。

問 平成26年4月開校を目指すしていると説明があっ

た。学校として再利用することが一番望ましいので、早く開校できるように手伝いをしていただきたい。

## 出産する人に 夢と希望を

石井 めぐみ 議員

問 市の出生数は、減少傾向にある。なぜ女性が子どもを産まないのか。記事によると、社会制度の不備により未婚化・晩婚化が進んでいること、経済的理由で子どもの養育費の見通しが立たないことが主な理由。子育て世代を市に呼び込むためにも出産前が肝心。子どもを転校させてまで引越してこないのが現状。龍ヶ崎市等のように出産祝い金を給付する考えは。

市長 現在、祝い金や記念品を贈る制度はない。子育て支援センターの充実や子育てに関する様々な利用料・保育料等の助成・補助で支援している。

問 育児不安による産後うつ解消の取り組みは。

健康福祉部長 こんにちは赤ちゃん訪問事業で乳児のいる家庭を訪問している。保健センターでは質問票を使い、母親の産後うつ早期発見に努めている。

問 全国でジェスチャーを使って赤ちゃんと話すべビーサイン(※)という育児法が注目を浴びている。また、近隣市町村で赤ちゃん祭りが開催された。育児を楽しく変えるための取り組みは。

答 9月12日にイベントがある。赤ちゃん祭りの催しになるが、付随する形でPRして、たくさんの方に来ていただきたい。

## 取手の緑と 水を守れ!

関戸 勇 議員

※ベビーサイン：赤ちゃんの手話やジェスチャーを使ってコミュニケーションをする育児法

問 市制40周年を記念した「取手市の巨木と名木」という本にある戸頭団地のメタセコイア。本の発売20日前に、この木が切り倒されることがわかった。私は、担当課と協議をして、枝の剪定のみとなった。本の出



メタセコイア (戸頭団地)

版と倒木の計画は同じ部が行っているが、なぜそうなるのか。

建設部長 樹木剪定については、切れと言う方と切るなど言う方がいる状況。対応に悩んでいる。

問 ゆめみ野開発で平地林が消え、取手の特徴であった斜面林も姿を消した。自己犠牲で屋敷林を維持している方に助成の基準が必要。また樹木管理のガイドラインを策定する考えは。

答 公園の樹木の除染作業で強剪定を行っている。終わったたら、ガイドライン作成に向け作業部会をつくる。

問 5月18日水道水からホルムアルデヒドが検出され、柏市などで水道が止まった。取手も同じ利根川の水を飲んでる。5月20日午前0時以降、取手の取水場では検査していないが。

まちづくり振興部長 検査の個所数を増やしてほしいという話は県に伝えたが、残念ながら現在は水海道の取水場だけで行われている。

撤回せよ!  
小学校統廃合計画

鈴木 潔 議員

問 小学校統廃合計画は決定ではなく、まだ案であることを周知してほしい。

教育部長 説明会では、議会で学校設置条例改正の議

決をいただかないと、正式な年次計画は決まらないと説明している。

問 適正配置の基本的考えに通学時の負担や安全性がある。この案では、統廃合により通学の負担や危険性が増えることを心配するのはないか。

答 統合時に細心の注意を払って新しい通学路を設定する。徒歩通学圏内を超える場合、別に通学の手段を考えなければならぬ。

問 中学校統廃合が終わったが、先生、保護者、何より生徒の声を聞いたか。

教育長 アンケート等はまだ取っていないが、学期末に子どもたちが作文を書いたりするので、思いをしつかり受け止めていきたい。

問 中学校統廃合の際、統廃合後は30人前後と述べていたが守られていない。小学校統廃合でも、吉田小に6教室造るなど無理な統廃合を進めている。さまざま

な人の要求に耳を傾け、計画の見直しを要求する。





## 作成後の対応は？ 公共施設マネジメント白書

結城 繁 議員

問 ここ数年、全国的にインフラ崩壊危機にある。市は全国に先駆け、公共施設マネジメント白書を発行したが、その後の展開は。

政策推進部長 周知ということ、政策情報誌「薬」に2度掲載した。

問 白書には、公共施設の減価償却（※1）の考え方が入っているが、今まで公会計でやってきていたのか。政策推進部長 個別施設の減価償却費をコストとして考えたのは初めて。

問 こういう形で出たことは評価。公会計を企業会計みたいな方式にする考えは。

財政部次長 市のバランスシート（※2）は、世代間の負担が重要視されている。その先は、建物情報の一元化が図られていないので、保全台帳を整理する必要がある。

問 一元化は一番必要。その時に、担当部署を設ける必要性があると思うが、その考えは。

市長 施設の複合化や、新しい対応が見える民間人を持つてくるのが、公共施設マネジメントをやっている本当の意味だと思うが、イメージとして見えていな

いのが実情。よく勉強していききたい。

※1・減価償却：固定資産購入に要した支出を当該資産使用可能期間中で配分する会計上の手法

※2・バランスシート：貸借対照表。企業等のある時点での資産・負債等を表す。

## 身を削るべき 公務員の退職金

川又 貞男 議員

問 先日の新聞で、国家公務員の退職金が一般企業と比較して高い報道があった。企業は倒産する心配があるが、公務員は一生働けるので身を削る必要がある。取手市職員の退職金は国家公務員と比べてどうか。

総務部長 給与体系が、国家公務員は10級まで、取手市は7級まで。単純に比較は難しいが、給与そのものも県内自治体と比べて高くないので、退職金も高くないと考える。

問 高齢化が進み、税収が増える見込みがない中、支出はしなければならぬ。そういう点から、今後3年間の退職者数と退職金合計額はどのくらいになるのか。

総務部参事 定年退職者は今年度40人、来年度36人、再来年度32人。退職金は運営する茨城県総合事務組合

への負担金として、一時金も合わせて、年間約9億5000万円になる。

問 市の財政上、大変大きな金額だ。事業が縮小していくと、退職金の積み立てを使い出したりする会社もある。公務員はそれと比べて非常に安定しているの、やはり身を削ることが大事。

## 旧東急ビル再開

加増 充子 議員

問 旧東急ビル再開の必要性について、市長の考えは。

市長 事業者が再開に向けて最大限努力をしていると聞いている。再開の話があれば、市民のニーズがかなうところまでできる協力の仕方はあると思うので、対応したいということ、かねてより申し上げている。

問 具体的には。

都市整備部長 プロジェクトチームは健在。話があれば検討に入っていきたい。

問 公共施設導入についての協議は。

都市整備部長 協議の中で出ているが、具体的に検討したということではない。

問 ウェルネスプラザに含まれる真に必要とする公的施設は、東急ビルを活用することによりビル復活も可能になるのではないか。

市長 ウェルネスの根っこ

となるものは、しっかりと検討している。お金の面でも、県の合併支援金には期限がある。そのことを考えず、早く確定させていきたい。確定すべきものも確定させて前進させることと、民間事業者の建物等が広い意味でのウェルネスで使える余地があるので、という議論は、切り離して考えないと物事は進まない。



ふれあい道路

## 市からの移管を！ ふれあい道路

渡部 日出雄 議員

問 ふれあい道路の維持管理費は、路面舗装で24年度予算1億100万が計上され、市負担60%、国県補助40%。すべての維持費用は、建設部長 23年度は、約8910万円。

問 ふれあい道路は、国道294号線を補完するどころか、国道と二分しているが、産業道路と感じているが、

現状の交通量は。

答 24時間の交通量で、ふれあい道路は、約1万9100台。国道294号は、約2万2000台。

問 交通量からも二分している。このような道路の維持管理に市民の税金を使うことに疑問を感じる。国道や県道への移管についてどのような努力をしてきたか。

答 市長会を通して、県道への昇格を要望している。今後要望していきたい。

問 江戸川学園から戸頭までのふれあい道路は、商業施設はおろか住宅さえも。道路の両側が市街化調整区域に指定されているが、方針を変更して、商業施設や宅地開発を誘導し、税収を増加させる考えはないか。

都市整備部長 今のところ話は出ていないが、開発等を進めるべきという認識は持っている。

## 使用料を運動公園並みへ！ 北浦川緑地

入江 洋一 議員

問 1 北浦川緑地の使用料について、他の運動公園等に比べて使用料が高い。県の施設だが、市は指定管理者なので、市は十分に協議して、他施設並みの使用料にできないか。

2 障害を持つ児童の放課後及び長期休暇時の受け入



北浦川緑地

れ先について、どのように取り組んでいくか。小学校統廃合の中、学校の跡地利用の観点から、複合施設を創設し、その一角に組み入れてはどうか。また、保育所等に通う障害児に対し、専門的支援を行う訪問支援の創設を求める。

市長 1 使用料は、利用団体から何度も話があった。市が指定管理者のため、平米当たりの使用料を8円から4円、スポーツ少年団の練習の場合、2円に減免している。県所有ではあるが、多くの利用者に納得感と充実感を持って利用していただいてこそその緑地と思うので、話はしていきたい。

健康福祉部長 2 こども発達センター移転の際、放課後デイサービスの機能を拡充することによって支援していきたい。学校の跡地利用は市内で検討したい。保育所への訪問支援は、障害福祉課の発達支援専門員が巡回相談を行っているので、強化を図っていきたい。



## 市街化調整区域開発 による地域づくり

中村 修 議員

**問** 市街化調整区域について、開発申請や土地活用の相談等、協議中の物件は。都市整備部長 桑原地区2カ所、柵木地区で話がある。また、米ノ井地区でも相談があった。

**問** 問い合わせがある開発は、基本的に優良農地と思うが、今後の見通しは。

**答** 農地サイドとの協議で、厳しい内容の話聞いていますが、国土利用計画や都市マスタープランで市の新しい産業拠点としての位置づけをしている。地主、開発業者の考えもある中で一緒に前進していければと思う。

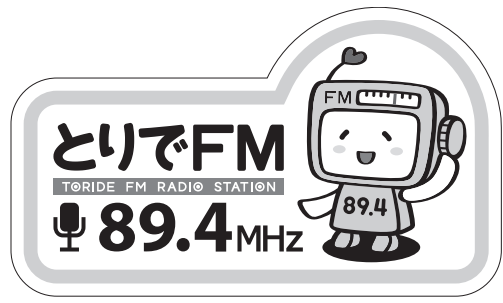
**問** 開発は、産業拠点というところで地域づくりに欠かせない。一方で農地保全という観点からは相反している。農政からの所見は。

**農業委員会会長** 申請があれば、法を遵守し対応する。農業委員会は、食料自給率アップに向け、農地の有効利用を推進している。農地減少を食い止めなければならぬ思いもある。

**問** 桑原地域市街化構想の早期実現の請願採択から5年。市の考えは。

**都市整備部長** 国土利用計画、都市マスタープラン等

で商業の拠点として指定。現在、事業者、権利者の考えを聞いている。一つ一つクリアしながら県や関東農政局との協議を考えている。



とりでんぱちゃん

## 何を伝える？ 臨時災害FM局

山野井 隆 議員

**問** 臨時災害FM局開設の申請期間は。

**総務部次長** 周波数再編の中で空いている時間で、使って大丈夫という期間が6か月となっている。

**問** 臨時災害FM放送の内容の詳細については。

**総務部長** 基本的には災害情報を中心。それ以外に、市や市民団体が取り組んでいる情報を提供したい。市内の若手職員で検討する組織を立ち上げる予定。

**問** 災害情報の集約と優先順位などの決定は、どう行うのか。

**答** 災害対策本部、応急処

理本部に情報班がある。そこで、情報をつくり、発信する手順となる。

**問** 地域に偏った情報がほとんどになる感じだが、その辺の配分は。

**答** 国・県からの注意情報・警報を優先的に伝えることになる。

**問** 防災訓練について、FM放送を利用して、周知を兼ねてやってみては。

**答** 検討したい。

**問** つくば市で出力を20ワットにという話が出ている。そうすると、市に「ラヂオつくば」の電波が届く可能性が高くなる。参画する意思があれば、早めに取り組んだほうがいい。

**答** 多様な情報伝達的手段として検討していきたい。

## ウェルネスプラザ整備に 若者の声を！

飯島 悠介 議員

**問** 取手の文化政策は、ウェルネス・タウン構想にどう組み込まれているのか。

**都市整備部次長** 芸術文化も、作品を見ると心が和むなど市民の健康につながる構想は、それを否定するのではなく、取り入れていくコンセプトで成り立っている。

**問** 医療とアートは、体の健康と心の豊かさということ、パッケージにすれば日本中から集まるよう

なサービスができるポテンシャルを秘めると考える。ウェルネスプラザについて、町のにぎわいを加速するには、若い人のニーズをくみ取る必要があるが、どういった組み込みが可能か。

**答** 毎日の生活にとって住みやすいことを作り上げ、その上で多くの人に来ていただくまちづくりが必要。その意味でも、若い人たちにも健康・医療・福祉というコンセプトを進めている。

**問** どのようにより市民の声を拾う予定か。

**答** ウェルネスプラザの形を報告し、意見をいただければと思う。具体的には、今、検討しているところ。

**問** 若者の声をしっかり受け止めるという点をウェルネスプラザのコンテンツづくりに生かしてほしい。

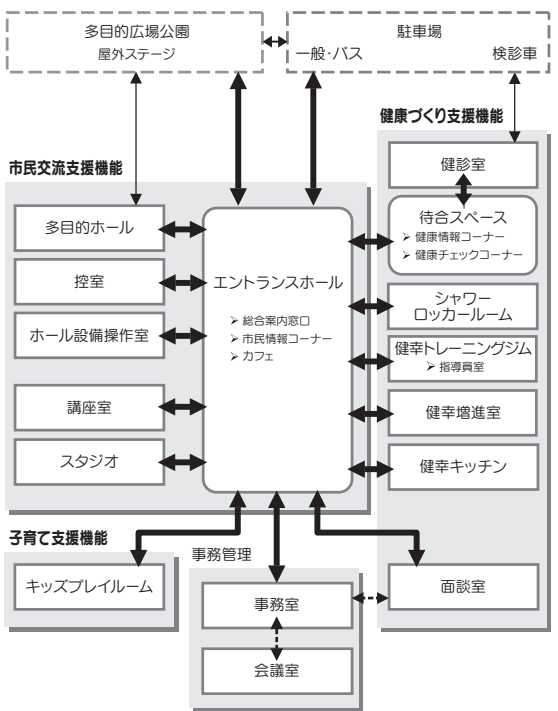
**答** ウェルネスプラザの形を報告し、意見をいただければと思う。具体的には、今、検討しているところ。

**問** 若者の声をしっかり受け止めるという点をウェルネスプラザのコンテンツづくりに生かしてほしい。

**答** ウェルネスプラザの形を報告し、意見をいただければと思う。具体的には、今、検討しているところ。

## ウェルネスプラザの諸室構成

((仮称) ウェルネスプラザ整備計画 [案] より)



## 早急な拡幅整備を！ 台宿・芸大通り

小嶋 吉浩 議員



芸大通り (台宿)

**問** 都市計画画道路3・4・7号線の台宿坂上から最近できたコンビニまでが非常に狭く、危ない。片方しか歩道がなく、U字溝ふたの上を歩く。手かけ部分にふたがなく、夜間は特に危ない。横幅が広い人が通ると、すれ違いできず、どちらかが車道に出るため、よけた人

**答** 都市計画画道路3・4・7号線の台宿坂上から最近できたコンビニまでが非常に狭く、危ない。片方しか歩道がなく、U字溝ふたの上を歩く。手かけ部分にふたがなく、夜間は特に危ない。横幅が広い人が通ると、すれ違いできず、どちらかが車道に出るため、よけた人

次の定例会は、  
9月5日(水曜日)  
開会予定です。

が事故に遭ったら困ると思いつながら歩いている。ここは早急に整備すべき。鈴木議員の質問に、地籍調査を行っているという答弁があったが、終わるのはいつごろか。

**建設部長** 南側の台宿一丁目、28年度ごろを予定。

**問** 地籍調査が終われば境界がクリアになるが、地域の話では、境界問題についてほぼ解消されつつある。これを考えれば、地籍調査を待つまでもない。来年度予算からであれば、27年度までにやる気になれば完成できるとはならないか。

**市長** 3年かけて地籍調査をするとなると、危ない状況が長期にわたってそのままとなる。議会のご理解、ご協力があれば、来年度から用地測量、実施設計を前倒しすることは可能。

**問** ぜひ早いうちに予算を付け、この区間の早急な整備を重ねてお願いしたい。